

令和4年度長崎県保健医療対策協議会がん対策部会
子宮がん委員会 議事概要

日 時：令和4年12月5日（月）18：30～20：00

場 所：長崎県庁 3階 311会議室

出席者：三浦委員長

小寺委員、寺坂委員、中島委員、藤下委員、松田委員、森崎委員（五十音順）

(1) がん検診に係る各目標指標について

資料1により事務局から説明。

市町によって未把握率等にばらつきがあることを確認した。

未受診者に対して、適切な勧奨を行っていく必要があるとの意見が出された。

(2) 事業評価のためのチェックリストについて

資料2により事務局から説明。

長崎県細胞検査士会主催の勉強会の実施について報告があった。

長崎県内の細胞診の専門医や認定された細胞検査士の数を集計してほしいとの意見が
だされた。

精密検査実施医療機関一覧表の必要性を確認した。

(3) 長崎県内の子宮がん検診の実績について

資料3により事務局から説明。

3年連続で受診率が増加している市町の取り組みを分析すべきとの意見がだされた。

長崎県全体の感度・特異度の把握は、現状困難であることを確認した。

(4) 精密検査実施機関登録制度 比較調査について

資料4により事務局から説明。

比較調査を実施するうえで、妊婦検診の取扱い等をどうするか意見がだされた。

子宮頸がん検診の陽性の定義について確認した。

(5) 長崎県がん対策推進計画 中間評価について

資料5により事務局から説明。

意見等は無かった。

(6) その他

HPV検査や検診の広域化等の導入が、死亡率減少に向け必要との意見がだされた。

また、HPVワクチンの接種率向上のため、積極的に普及啓発を行うべきとの意見がだ
された。